



GoTo きいばす

Vol.31

令和5年5月23日発行

6月の休日は、通常の乗物体験（バッテリーカー・インモーションなど）、組み立てブロック体験、VR体験のみの開催となります。皆様のご来館をお待ちしています。
（5月から7月、9月から11月は月曜日も開館します。）



- 4月来館者数 306人
（累計 108,662人）
 - 3月発電電力量 11,746kWh
 - 3月使用電力量 6,351kWh
- 注）使用電力量には電力会社から購入した分も含まれています。



出力100kW（1基50kW）
一般家庭で使用する電力量300kWh/月として、約39軒分の電力量を発電しました。



↑インモーション体験を行う武生南小学校児童たち

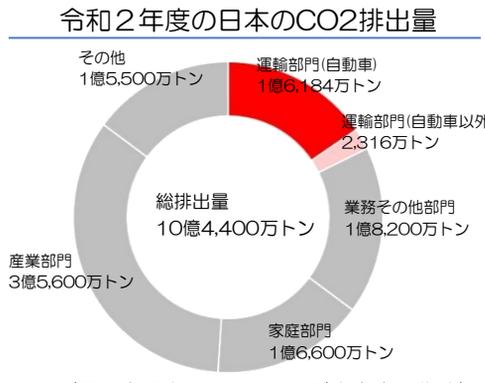
4月には、春休みを利用して関西原子力懇談会の中学・高校生の団体が2回来館され、館内体験ツアーとしてエルゴ体験等をしていただきました。
また、4月28日には、越前市の武生南小学校の児童99名が来館されました。武生南小学校は校外学習として令和3年度から3年連続で来館いただいております。毎年「磁石とコイル遊び」という発電の仕組みを学ぶプログラムを体験していただいています。当日は、他にも電気の利用の体験や発電体験、省エネルギーの話など、お昼を挟んで1日滞在いただき、エネルギー環境教育への理解を深めていました。

ペルトンくん



4月のトピック

現在、日本では、2050年カーボンニュートラルに向けて電動車と呼ばれる電気自動車、燃料電池車、ハイブリッド車等の販売が進められています。また、電気自動車は、運輸部門のCO2削減に加え、V2H（※）と組み合わせることにより、電気自動車に充電した電力の住宅での活用や、非常用電源としての利用等、さまざまな活用が考えられます。



かけるくん

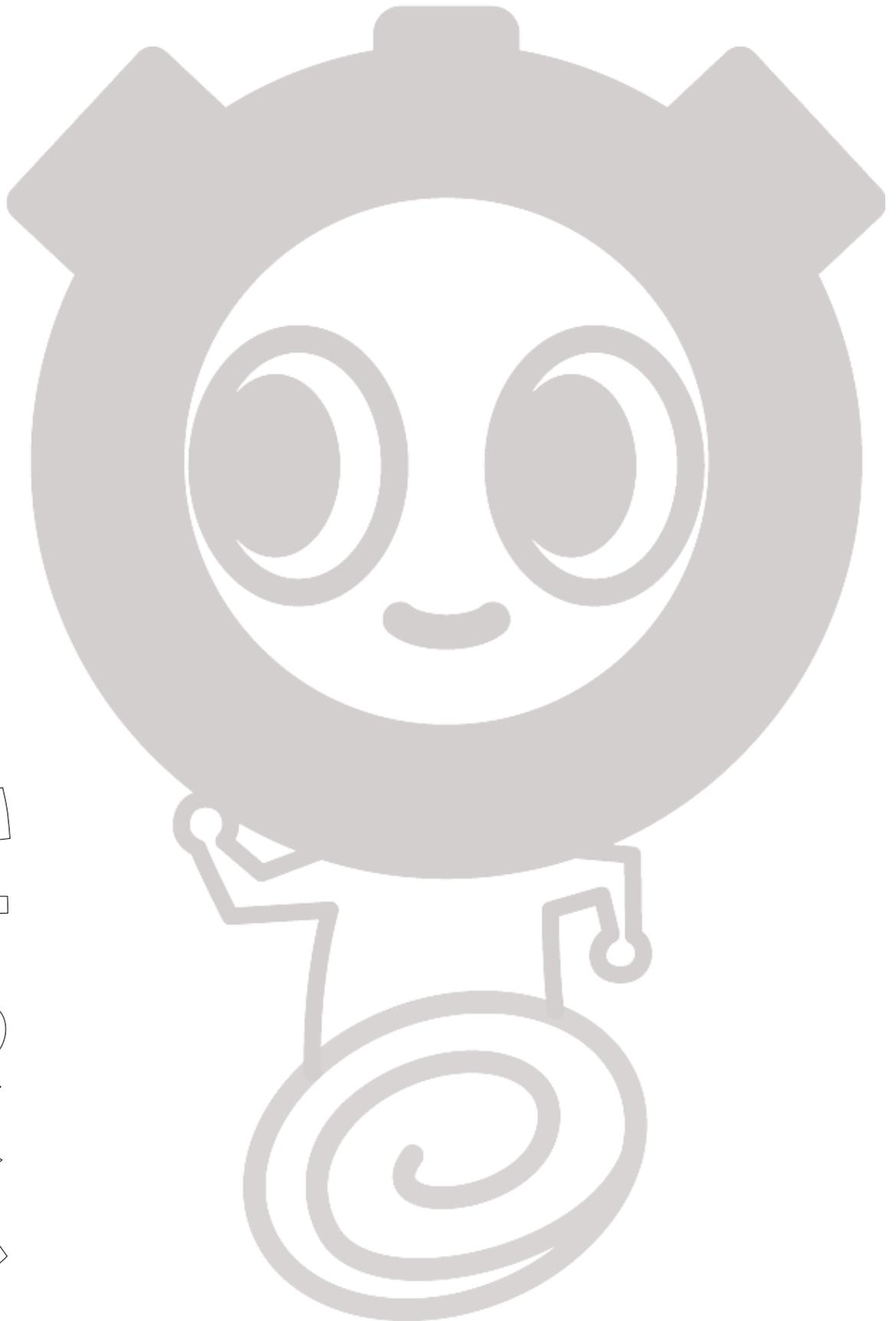


エネルギー・環境に関する情報提供
（2050年カーボンニュートラルに向けた取り組み「自動車」）

きいばすには、電気自動車とV2H、追尾式太陽光発電設備等を用いて、きいばす内で電気を最大限に利用する仕組みを構築しています。これらのシステムを運用することによる効果や利便性など、詳しい情報提供も可能です。
このような電動車や電力の有効活用について詳しく知たくなったら、きいばすへGO！
※：V2Hとは、電気自動車の大容量バッテリーから電力を取り出し、分電盤を通じて家庭の電力として使用できる仕組みのこと。

平成29年4月の開館から7年目を迎え、より良い学びを提供しようと日々改善に取り組んできたことが、成果となって表れていると感じています。
現在、5月には、県内外から5つの団体の予約をいただいています。
今後、この「GoToきいばす」を通じて、きいばすの体験プログラムの内容や、エネルギーに関する新しい情報をお届けしていきますので、ぜひご覧ください。

きいぱすキャラクターぬりえ



かけるくん

ストップウォッチをモチーフにした「かけるくん」。遊びに来た子どもたちと一緒に、元気に走り回ります。